

歌声広場9周年記念

New Orleans ニューオーリンズ・ジャズコンサート JAZZ concert



2015.11.7 sat

会費／2,000円(当日2,300円)

*前売りチケットは、歌声広場各会場・各YMCAにて取り扱っています。

演奏:ニューオーリンズ・ジャズハウス

(ピアノ・トロンボーン・クラリネット・テナーバンジョー・ベース・ドラム)

☀【昼会場】みなみYMCA

13:30~15:00(開場13:00)

熊本市南区田迎5-12-50(駐車場有)

TEL 096-378-9370

☾【夜会場】東部YMCA

18:30~20:00(開場18:00)

熊本市中央区帯山2-1-11(駐車場有)

TEL 096-382-6661

*東部YMCAでは、缶ビール・ワインを準備(各500円おつまみ付)

秋のひと時、19世紀末から世界の人々の新しい音楽となった米国・ニューオーリンズ発祥の「トラッド(伝統的)ジャズ」を、ご一緒に楽しみませんか。

2004年のハリケーン・カテリーナ災害支援チャリティコンサート(2007年)で、熊本とご縁となった国内外で活躍のジャズバンド「ニューオーリンズ・ジャズハウス」が東京から来熊。黒人霊歌・民謡・ポピュラーソング等をアレンジした親しみやすいジャズを演奏。ジャズはこんなに楽しいと、大発見間違いなし。ご家族ご友人、お誘い合わせてぜひご来場ください。

主催／歌声広場ワイワイ 共催／みなみYMCA・東部YMCA
協力／熊本みなみワイズメンズクラブ・熊本スピリットワイズメンズクラブ

Profile



【東海林 幹雄】 ピアノ・リーダー

1943年山形県天童市出身。1999年6月8日、当地の有識者やダニー・バーカーの推薦により、ニューオーリンズ民間名誉大使(Honorary Ambassador)に任命される。(日本人初) 1995年5月2日、ニューオーリンズ名誉市民証受賞。



【山本 浩介】 トロンボーン

早稲田大学New Orleans Jazz Club出身。見た目が「くまもん」と似ていることで、一部から「やまもん」と呼ばれています。キャラがいい。今回で3回目の訪熊となる。富山在住。



【新谷 健介】 クラリネット

東京都目黒区出身。東山小学校管弦楽でクラリネットを始める。日大芸術学部の加藤氏に師事。早稲田大学ニューオーリンズジャズクラブに入る。アルバート式(伝統クラリネット)に転向。23オニューオーリンズ・ジャズハウズに参加。



【丸山 朝光】 テナーバンジョー・ボーカル

若年New Orleans系音楽団、「ハチャトゥリアン楽団」を率いる。幼年期に父親の仕事の関係でニューヨークに3年暮らす。その際に見たニューオーリンズから巡業に来ていた「Preservation Hall Jazz Band」に心を動かされ、早稲田大学New Orleans Jazz Clubにてバンジョー奏者。



【伊藤 譲一】 ベース

早稲田大学ニューオリジャズクラブ出身。管楽器志望だったが、入部の時期が遅く、ベースしか空きがなかった。チューバもできる、というので入部。以降、'93年頃にRiver Walk Stompersに参加。'05年からニューオーリンズ・ジャズハウズに参加。アイドルはChester Zardis。



【吉井 哲嗣】 ドラム

13歳よりドラムをはじめ。早稲田大学入学時にニューオーリンズ音楽と出会う。1993年の初渡米以来たびたびニューオーリンズを訪れ、現地のミュージシャンと共演。1999年にはニューオーリンズ名誉市民の章を受ける。いくつかのバンドを経て、2004年のニューオーリンズ・ジャズハウズの結成時より参加。

NEW ORLEANS JAZZ ORCHESTRA

こぼれ話 >>> 熊本とニューオーリンズは1900年代初頭から深い交流関係。

明治時代、熊本草葉町教会の宣教師・海老名弾正校長の熊本英学校教師のシドニー・ギューリックは、学生であった熊本YMCA初代理事長福田令寿氏を教え、後に京都同志社に勤務。昭和初年帰米。当時の日米関係悪化を憂い、親交のあった渋沢栄一と両国の平和な将来を担う子どもたちのため、日米友情人形交流プロジェクトを立ち上げる。米国からの約2万数千体の人形が日本へ。しかし第二次大戦中、軍部により破壊指示。現在、熊本には八代の宮原小学校、鏡小学校に2体が保存される。昭和初年、熊本からの一代目答礼日本人形はニューオーリンズへ。しかし現地博物館で紛失。熊本YMCAが中心となり1987年寄贈した2代目人形はハリケーンで流失。現在、第3代目人形“阿蘇桜”がニューオーリンズYMCAに展示。S・ギューリックの弟はYMCA三角マークの考案者。